

What?

前田が回答

合宿にまつわることで、一番うれしかったことは何ですか？

多くの参加者から「声」が届いたことです。たいてい、成果とは「スコアアップ」ですが、ほかにもあります。例えば、「耐久力がついたので、日々の学習量が増えた」という声が届いたことがあります。これは、その人にとって合宿が非日常的だったことを示唆（suggest）しています。そして、「当たり前前の基準」が上がったのでしょよね。

「1日10時間の勉強なんてありえね〜と思ったけど、なんとかなった。平日には時間がないと思っていたのは間違いだった。普段、無駄なことに多くの時間を使っていることに気づきました」とか「朝8時から夜中までリーディングの問題を解きまくったので、今は平日2時間で模試1セットは何でもないです」といった声が届いたこともあります。

合宿を通じて得られることを教えてください。

学習する体質です。「其の壱」の時から言っていたように、この合宿は短期的で小さい成果を得ることを目指していません。長期的に成果を出し続けることを目指しています。

そのためには、成果を出す人になることが大切です。「Doより先にBe」なのです。まず、大きい成果を得るに値する人になる。そうすれば、後から結果はついてきます。

参加者全員が変わるのですか。

いいえ、全員が化けるとは約束できません。想いが強い人ほど変わる可能性が高いでしょう。ボクらは魔術師ではありませんから、参加する皆さんを変えるとは約束しません。

そもそも、人は「変わる」わけではありません。他人によって変えられるわけでもない。人は、自らの道を自らの手で創り、自らの意志で歩むことしかできない存在だと思えます。ボクらは、己を信じる人に、きっかけを作っているだけなのです。

Why?

濱崎が回答

なぜ合宿なのですか。日帰りでもいいのでは？

僕が考えている理想の状態は、自分の持っているすべての経験と知識を参加者のみなさんにお伝えし、全員がその本質をきちんと理解していただくこと。

そして、その中から「これは良いことを知った、早速自分の学習に取り入れていこう」と思えることを、可能な限りたくさん提供することだと考えています。

人は誰も持てる時間、自由にできる時間には限りがあります。日帰りのセミナーを2日連続で開催するスタイルにしても良いのかもしれませんが、ですが、「合宿」というスタイルにこだわる理由は別にあるのです。

みなさんが最後に体験した「合宿」、それはいつのことでしょうか。

多くの方は高校や大学の部活やサークルなどで得た機会以来、「同じ志を持つ仲間」と共に、2〜3日同じ環境の下で過ごすことがある、という方はほとんどいらっしゃらないと思うのです。僕はこの「究極のゼミ合宿」を通じて、「自分を変える最大の機会」をみなさんに手にしてほしい、と願っているのです。

「自分を変えることができるのは自分だけ」だと僕は信じています。そして、そのきっかけを与えてくれるのは「アツイ志を持つ仲間たち」だけである、とも信じているんです。

この合宿を通じて、普通に暮らしているのであれば決して交わる機会を持つことのできないような仲間と知り合って欲しいのです。そして、そういう仲間たちから得る刺激を受け取るチャンスをできる限り手にしていただきたい。

TOEICの問題を解けるだけ解き、僕や前田先生からたくさんの知識やスキルを得るだけでなく、同じ時間と空間を共有する仲間たちからもたくさんのものを得ていただきたい。その特殊体験ができる場をつくり出したい。

1日ハードな学習に堪え、寝食を共にし、夢も現実も語り合う。そういう日帰りでは得難い非日常を体感する場を共有していただきたい。長くて濃い時間があるからこそ手に入れられるものがある。

合宿にこだわりがあるのは、そういう思い・信念があるからなのです。

わざわざ韓国の本を使う理由を教えてください。

日本語が堪能な僕たちは、TOEICテストという「オールイングリッシュ」のテストの対策を

行う上でも、何かあればすぐに日本語に頼ろうとしてしまいます。韓国の本の良いところは、日本語が一切書かれていないこと、英語以外の部分（ハングルの部分）は理解不可能であるところにあります。韓国語に堪能な方には当てはまりませんが、テキストに書かれている英語以外頼りが無いという状況が、みなさんの英語に対するスタンスを理想的なもの（理解すべきこと・判断すべきことは、そこに書かれている英語のみである）にしてくれます。

どのような人が参加すると特に効果的だと思いますか？

TOEIC 学習を続けていく中で孤独を感じている人。
自分の学習スタイルに絶えず疑問を感じている人。

このままでは死ねない、自分の人生を何とか自分で切り拓きたい人、そしてそのきっかけを手に入れるチャンスをつかみたい人。

■合宿参加前のベストスコア 560 点
■合宿参加後のベストスコア 795 点
熱血な先生方と本気の参加者の皆さまに
パワーを頂いた、とても刺激的な2日間でした。
勢いで3ヶ月連続受験し、ベストスコアを武器に
転職しました。また参加したいです！

究極のゼミ合宿参加者 つぐみさん（会社員）



Kobe そして、神戸

「究極のゼミ合宿 其の九」は、神戸市で実施されます。9月13日～14日の1泊2日です。

どうも。前田です。これは「其の九」の案内文です。いきなり参加資格の話をしてします。

参加資格＝最新保有スコアが730点以上

【注】995点以上の方は参加できません

今回の参加資格は、申し込みフォームを送信する時点での**最新の保有スコアが730点以上**であることです。「其の八」と同じです。公開テストであれIPテストであれ、受験経験がない方にはご参加いただけません。

ボクたちがイメージする参加者は、次の要素を1つ以上満たす人々です。

参加要件は2番だけです。

1. TOEIC の受験や英語学習が好きな人
2. 現在の保有 TOEIC スコアが 730 点以上、995 点未満の方 ※必須条件
3. 「即効の 50 点アップ」より「1 年後の 300 点アップ」に価値を感じる人
4. あの ETS が作った問題を解いて、試験本番でニヤリとしたい人
5. 継続的に学習できるようになるためのきっかけが欲しい人
6. 精神を鍛えたい人
7. 行動至上主義の人間に生まれ変わりたい人
8. 己を律する力を高めたい人
9. facebook で偉人の言葉に「いいね！」をクリックするが、まったく行動しない人
10. TOEIC が好き過ぎて家庭や職場で孤立しかかっている人
11. そんな人を肯定的にとらえられる人
12. このリストが前回とほぼ同じであることに気づいている人

たぶん、18 時間くらいの勉強時間があります。

細かい時間割はまだ作られていませんが、だいたいこんな感じです。

Day-1 2014 年 9 月 13 日 (土) 13:00~24:00

Day-2 2014 年 9 月 14 日 (日) 8:00~18:00 *9 月 15 日は祝日

これらの中に演習、講義、質疑応答などの「勉強時間」があります。合計すると、だいたい 16 時間から 18 時間になります。(初日が 24 時で終わることはめったにないです。会議室は深夜ずっと利用できますので、何が起きるか予想できません)

会場は神戸です。

「其の八」は熱海市にある湯河原で実施されました。あの有名な温泉地です。研修室に引きこもり、TOEIC と英語にドップリと浸りました。

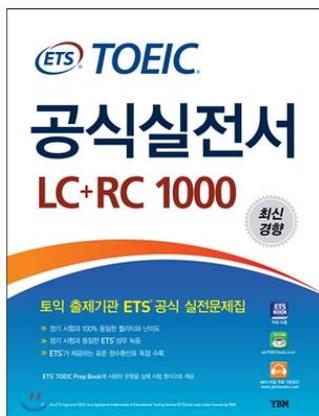


参加者全員が我々により軟禁され、自由と基本的人権を奪われました。



「其の九」の開催地は神戸です。

また、ETS が作った教材を使います。



ETS が作成した『公式実戦』シリーズの最新刊です。日本では発売されていませんが、一部書店が輸入販売をしているようです。

「其の九」では、Test 4 と Test 5 を使う予定です。ですから、もし、この本をすでに持っていたとしても、それらに取り組んでいないのであれば参加していただいて結構です。(教材費を差し引きます)

もちろん、まだ持っていない場合は、「其の九」に参加すれば現場でお渡しします。

なお、この本には本家本元の ETS が作った、本番に出そうな素材がギッシリ詰まっています。これまでの受験経験や調査経験から言えば、この本に入っているテストがそのまま公開テストに登場しても何の違和感も持ちません。解説はハングルで書かれてあります。もし、あなたがハングルを理解できないなら、合宿中も合宿後も ETS クオリティに英語だけで触れることとなります。そのメリットは、冒頭で濱崎教官が述べた通りです。

教材費は 2,200 円に設定しましたが、ルートによっては、もっと高く買えます。どうしても高く買いたい場合は「自己手配」して OK です。申込時に申告していただきます。

演習・解説講義・質疑応答・シェア・宣言…

授業は基本的にパート別に進んでいきますが、参加者のレベルを考慮して「強弱」をつけます。例えば、「其の八」ではパート 1 とパート 6 の時間を少な目にしました。この問題集に現場で取り組んでいただき、講義や質疑応答をすることが中心です。

講義では、受験のための戦略や戦術、めっちゃ細かいテクニックも扱いますし、技術を運用するために必要となるであろう英語力そのものを大きく伸ばすためのトレーニング法や実例を紹介する時間もあります。ほか、悩みをシェアしたり、合宿後に目指すことを宣言したり、と、ほかの場所ではなかなか味わえない有益な時間を提供します。

可能性を制限しているリミッターを外す

これまでずっとお伝えてしてきた通り、「リミッターを外す」ことが、「究極のゼミ合宿」のキーワードです。

普段の学習では決してやらないであろうことや、多くの人が避けようとしたり、ビビってしまったりすることに挑戦。それにより、いつの間にか可能性に制限をかけているリミッター

を外します。リミッターを外す最強の方法は「体験」です。無理っぽいことでも、とにかく体験する。そうすれば「これくらいは当たり前」と思うようになるものです。あなたが持っているリミッターを外せるのは、あなただけです。



写真：「究極のゼミ合宿」より

教官プロフィール

いつも通り、前田と濱崎教官が担当します。濱崎さんは、約6年半前に「時の人」となり、その後も学習量を増やしまくり、目指す結果を手にした代表的な人物です。『TOEIC テスト完全ガイド』の辛口ランキングで1位となった『新 TOEIC TEST 全力特急 絶対ハイスコア』の著者でありつつ、編集者&大学講師・企業研修講師として活躍しています。



濱崎潤之輔

～かつて何が何でも 900 点が欲しかった男～

毎月 20～40 冊以上の TOEIC 対策本を使った勉強に明け暮れたものの、挙句の果てにスコアダウン。TOEIC 学習にすべてを捧げていたのに決して報われることの無かった日々を過ごす。その後しばらくは 800 点台前半のカベをブチ壊せずにもがき続けていた……

偶然知り合ったヒロ前田氏からアドバイスを受け、その年の秋に学習スタイルを根本から改革、約半年後、3 月実施の TOEIC 公開テストにおいて 100 点以上のスコアアップ、970 点を取得。

それ以来、革命的な成果を出した「3 回チャレンジ法」の実践を TOEIC の問題集・参考書はもちろんのこと、いかなる英語関連書籍、そして一般書を読む際にも適用し続けている。TOEIC を愛するアツい思いは消えず、その後は 990 点取得だけを目指して受験し続け、現在は 990 点を 20 回以上取得。

かつては単語集の見出し語・10,000 語以上をすべてパソコンに入力する、同じ問題集を 10 回以上も徹底的に復習するなど、従来の TOEIC 学習の常識をぶち壊す行動が、世の学習者のみならず指導者たちを震撼させた。あの神崎正哉氏に「日本で一番 TOEIC の勉強をやっている」と言わしめた男。

「自分以外全てが師」であるという信念から、あらゆるレベルの学習者、そして、TOEIC 講師・英語講師たちとの交流にも積極的で「いかに自分の努力が足りていないのか」を再認識し続けることにより自らを律し鼓舞している。

高嶺の花をつかむことに拘り続け、今もなお孤高の存在を目指す求道者、ここにあり。

ブログ：独学で TOEIC990 点突破を目指す！
好きな言葉：「才能とは自分自身を信じる力だ」
趣味：総合格闘技、TOEIC を愛する人たちとの交流

*この情報は 2014 年 8 月現在のものです



書いたのは本人です。

ヒロ前田

～TOEIC で全国制覇を目指す男～

高知市生まれの国産だが、その名前から、ハワイ生まれのプロレスラーだと勘違いされることがある。幼少期に関西人として過ごし、関西弁のネイティブスピーカーになったが、語彙力不足のまま福井県に引っ越す。高校を卒業するまで福井で過ごす。進学のため、やはり語彙力不足のまま関西に戻る。大学では **ESS** に所属し、英語学習と英語ディベートに明け暮れる。2年時に **TOEIC** を初受験して **710** 点。その当時、英語ディベートの全国大会でチーム・個人ともに **3** 位を受賞した実績がある。

2001年、勤務していたアルクでロバート・ヒルキ氏を講師にした「**TOEIC** テスト **730** 点突破ゼミ」をプロデュース。それが大ヒットし、単行本『直前の技術』（2004年版）が生まれるきっかけを作る。ヒルキ氏の神がかり的な授業とトーク術を見ているうちに「自分でもできる」と思い上がり、2003年から **TOEIC** 対策指導、2005年からは指導者育成を始める。

2005年秋に刊行した初の書籍の表紙に著者名を入れる際に「どうせ最初で最後だから」という理由で、ヒロ前田というペンネームが他人により決定され、校了直前だったため拒否する余裕もなくデビューを果たす。2作目の『直前の技術』（2006年版）がヒット。以降、「オンリーワンになる」という方針のもとで、数多くの「普通じゃない」本を手がける。

2007年に独立。同年秋、メルマガ読者を対象に横浜で実施したイベントで濱崎氏と出会い、イベント後に居酒屋で5時間語り合う。それ以来、多くのプロジェクトで協働。

オンリーワン戦略の一環として、**TOEIC** 公開テストを全都道府県で受験することを目指し、実際に行動し続けている。2014年8月の時点で **30** 都道府県を制覇。従来の **TOEIC** 受験の常識をぶち壊す行動が、世の常識人を笑わせている。

ブログ：**TOEIC** テスト対策 疑問ひたすら **100** 連発

好きな言葉：「世の人は我を何とも言わば言え 我が成す事は我のみぞ知る」

趣味：総合格闘技、将棋、誰も取らない **TOEIC** スコアを取ること

TOEIC スコア					
実施日	2014年5月25日				
Listening	5	Reading	15	Total	20
	アドバイス		アドバイス		アドバイス
第190回公開テスト 正答数 L:1問 R:4問					

* この情報は2014年8月現在のものです



書いたのは本人です。

TOEICテスト 究極のゼミ合宿 其の九

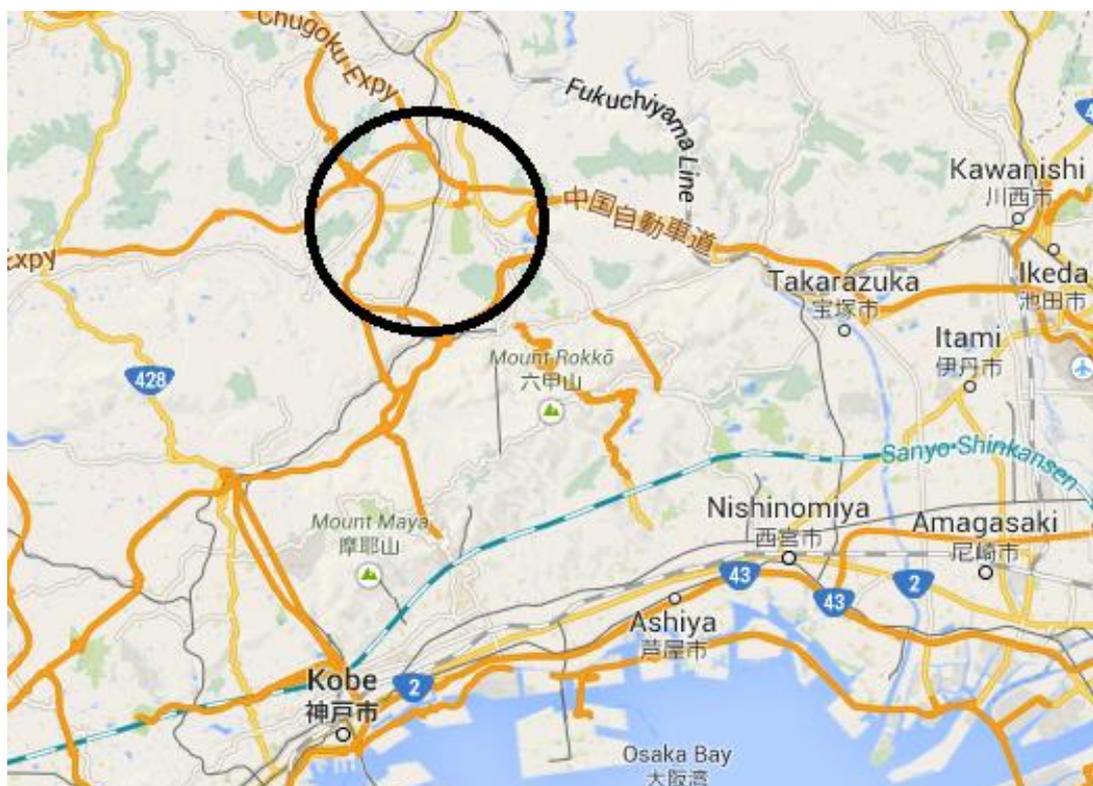
High Octane

増税後の新料金

1泊2日の標準参加費はずっと 39,900 円（税込）でしたが、消費税が 8 パーセントに上がったので、それに対抗して参加費を下げることにしました。対抗する意味が自分でもよく分かりませんが、新料金は 37,800 円（税込）です。

そして、あの本の価格としては日本一安い 2,200 円を加えて、40,000 円（税込）が教材込みの参加費です。

まだまだ暑くて寝苦しいことが予想される 9 月の連休に、ボクたちと神戸で TOEIC まみれ、ETS まみれ、英語まみれになりませんか。場所は黒丸の辺りです。



日時：2014年9月13日（土）13時～14日（日）18時 ＊初日の集合は12:30前後
会場：兵庫県神戸市（詳細は申込者にお伝えします／新神戸駅から30分程度の駅が最寄り駅）
定員：24名（全員シングルルーム）
教官：濱崎潤之輔、ヒロ前田
費用：参加費37,800円＋教材費2,200円＝40,000円（税込／1泊3食付き）
＊教材が「自己手配」の場合は37,800円（税込）です。（ご購入は1人1冊のみ）

宿泊が無理なら「合宿」ではなくなるので、ご参加いただけません。教材は初日に配布しますので、事前購入は不要です。

ご注意ください。

部屋と食事の確保、キャンセル規定などの都合で、**申込締切日は2014年8月31日（日）の24時**です。その前に空席がなくなれば締め切られますが、空席があれば二次募集を行います。過去の合宿では、ほぼ毎回「キャンセル待ち」が発生しましたので、二次募集を行う可能性は低いと思われま

ご入金の方法はメールでお知らせします。ご入金後のキャンセルには取消料が発生しますので、確実に参加できることを確認してからお申し込みください。

「申し込みだけして、後でキャンセル」というケースがたまにありますが、それが原因で、日程的には参加できるのに席がないから参加できない人が発生することがあります。やむを得ない事情がある場合は仕方ないのですが、参加可能であることを確認してからお申し込みください。

申込方法

「TOEIC テスト究極のゼミ合宿 其の九」への参加を希望される方は、この[フォーム](#)を使ってください。自動返信でメールが送られ、参加費の入金方法が伝えられます。

リンクが機能しない場合 → <https://ws.formzu.net/dist/S98495550/>
(スマートフォンからも申込可能ですがPCで読めるメールアドレスをご登録ください)

いつも通りの特典＋追加

まず、以下の2つは全員に約束いたします。

質疑応答と「チェックテスト」です。ちゃんと利用すれば、これらはかなり強力なメリットになります。

質疑応答

合宿で使用する本に収録されているアイテム（練習問題）について、理解できないことがあれば、ボクたちに質問していただければ、必ず回答します。

質問には個別にメールで対応します。ボクたちは、通常、このような役務サービスを提供していませんが、解説が韓国語で書かれた本を指定する以上は、質問を受け付けるのは自分たちの責任範囲だと思い、個別対応することにしました。ただ、無期限で受け付けるわけにはいかないので、2014年12月31日まで有効とします。（ボクたちは翻訳者ではありませんから、「訳」を提供することはできません）

濱崎&前田セレクション文法・語彙チェックテスト100問

使用するテキストを利用して、教官がパート5形式のオリジナル練習問題を100問作ります。当たり前ですが、元ネタのクオリティはETSによって保証されています。そこに我々が独自の視点を加えて、あなたにとって有益な練習問題を作って提供します。提供時期を意図的に合宿開催時期からズラシ（10月に送付予定）、継続学習を促します。

次に、希望者にだけ提供される「権利モノ」が2つあります。

「究極のゼミ合宿」メンバー専用SNSグループの利用権

facebookに、合宿参加者専用の交流スペースがあり、現在90名が利用しています。学習記録を書く人、スコア報告をする人、雑談を書く人、いろいろです。あくまでも「特典」ですから、利用は必須ではありません。facebookを使っていないのであれば、無理にアカウントを登録していただく必要はありません。



本に出演する権利

この合宿のタイトルは、書籍『TOEIC テスト 究極のゼミ』シリーズに由来しています。実は、大きい声では言えませんが、2014年の下旬に5冊目が発売される予定です。その本に、あなたが「出演」する（名前が掲載される）権利を提供いたします。ただし、さすがに全員は無理ですので「希望者限定&先着10名」とさせていただきます。あふれた場合は、濱崎さんの本に出演していただきます。（もちろんご本人からOKをもらっています）

この後に、過去の参加者の声があいくつもあります。

合宿参加者の声

下山智裕さん（会社員）

くどのような方に参加を推薦できますか？

地方に住んでいる方。語学学校で長期休みのときに集中講義を行っているところもありますが、おそらく、この合宿のように泊まり込みでかつリーズナブルな価格でやっているところはないと思います。

kohさん（会社員）

■合宿参加前のベストスコア 655点

■合宿参加後のベストスコア 720点

身近にはいないTOEICに熱心な方々、熱心な講師と時間を共有できたのは強烈な刺激でした。その後も色々交流させて頂いて、諦めず続けよう、という思いを維持させてもらっています。

ようちゃん（主婦）

私は一回だけの参加ですが、解説が日本語で書かれていない韓国過去問はすごく良かったと思っています。自分で語句や語法を調べるし、英辞郎で他の例文を読むきっかけにもなります。

Yocchiさん (OL)

合宿に参加する前は、2日間も勉強詰めになるなんて無理！と思っていましたが、実際に参加してみるとあっという間に終わってしまいました。勉強せざるを得ない環境に自分を追い込むのも良い方法だと思い、合宿後は有料の自習室などを活用し、勉強を習慣化することができるようになりました。

OJiMさん(トイーッカー)

- 合宿参加前のベストスコア 975点
- 合宿参加後のベストスコア 990点

この合宿では、講師からだけでなく、学習者から学べる事がたくさんあります。学習態度、向上心、謙虚さ、等々。本では学べない事ばかりです。

地方学習者K

- 合宿参加前のベストスコア 915点
- 合宿参加後のベストスコア 960点

合宿参加前に一度だけマグレでTOEIC900を取得していましたが、大体800半ば～800後半で推移していました。

合宿に参加し、解き方のコツ、根性をつけたことでTOEIC学習に対する迷いが無くなり、安定して900台をとれるようになりました。もうマグレとは言わせません！

<どのような方に参加を推薦できますか>

自分の勉強方法に悩んでいる方、普段は一人黙々と勉強している方、TOEIC学習自体に迷いを持っている方、何より勉強に対する根性をつけたい方にお薦めです。

TOEICの勉強を頑張っているのは自分だけではない！と実感できます。これは後々まで役に立ちます。

追伸

僕はこれまでも、そしてこれからもずっと、TOEIC が存在する限り、TOEIC のスコアを必要とする人がいる限り、命を懸けてずっと付き合っていく覚悟ができています。

指導を始めてから出会ってきた仲間たち。

その多くは TOEIC テストのスコアを会社の昇進・昇格の基準や大学の進級・卒業要件として求められることにより、人生の岐路に立たされることとなった方々。

そういう人たちと共に過ごした日々、そして状況を打破するために試行錯誤する中で手に入れた知恵や方法論。

この合宿では、その知恵と方法論・劇的なスコアアップのコアとなる部分を、一切の出し惜しみなくお伝えしたいと考えています。

公開テストを毎回必ず受験し、いかに効率的で効果的な学習を行えば良いのか、結果がきちんと出るのか.....そのことだけを日々考え・実践し、僕はこの数年間生きてきました。

その結晶のすべてをお伝えしたいと思います。

TOEIC テストは決して甘い試験ではありません。

一朝一夕で何とかなるような類のテストではないことは事実です。

それでも短期間に集中し、ポイントをキッチリと押さえた学習を続ければ、思った以上に早く「望んでいた結果」を手に入れることが可能です。

「まだ早すぎる」「もう遅すぎる」ということは決してありません。

大切なこと、それは今日から新しい自分に生まれ変わり、人生を懸けて、命を懸けてやれるのかどうか、ただそれだけです。

TOEIC テストは「努力する人を決して裏切らない」最高のテストです。

結果が嘘を 200%つかない最高のテストです。

短期間で結果を出したいのであれば、真摯な努力を凝縮すればいい。

そのとき最後に頼れるのは自分自身だけです。

僕や前田先生が、あなたの代わりに TOEIC を受験することはできません。

なぜなら、僕たちも命ある限り TOEIC を受験し続けるからです。

僕たちには覚悟があります。

TOEIC に人生を捧げているという自負があります。

そういう僕たちから、得られることを得られるだけ持って行ってください。

合宿参加者は人生の同志です、そして TOEIC とあなたが向き合い続ける限り、たった一人で TOEIC に自信を持って立ち向かっていくことができるよう応援し続けます。

職種業種問わず、老若男女問わず、TOEIC の名のもとに集い、切磋琢磨しましょう。

2014 年 8 月 20 日 濱崎潤之輔